



日本アカデミック・アドバイジング協会 ニュースレター

No.9 2025年7月発行

<< 日本アカデミック・アドバイジング協会 第5回年次大会の開催について >>

JAAA第5回年次大会（2025年）

大会実行委員長 篠田 雅人（同志社大学）

来たる8月23日（土）に、日本アカデミック・アドバイジング協会第5回年次大会を同志社大学今出川キャンパスで開催する運びとなりました。昨年度は本協会初の対面での年次大会が予定されていましたが、台風の直撃を受け、残念ながらオンライン開催となりましたため、いよいよ今大会が対面での初開催となります。

今大会のテーマは、「多様なStudent Successに寄りそうアカデミック・アドバイジング」です。大学においては、学生だけでなく教職員も多様化し、学習の支援者や支援方法も多様化してきていることから、アドバイジングの果たす役割や期待がますます大きくなってきています。そこで、学生の多様な学習支援ニーズを支えるアドバイザーにとって大切な姿勢である「学生に寄りそう」をキーワードに、みなさまと議論を深めたいと考えております。

なお、自由研究・実践報告発表の申込件数が過去最大の11件となったこともあり、2件のテーマ別ワークショップとあわせて、当初案からタイムテーブルを一部変更いたしました。また、シンポジウムでは、学習支援を受けた・学習支援をした両方の経験を持つ学部卒業生とその活動をあたたかく見守った教職員2組に登壇いただく予定です。もちろん、対面実施ならではの情報交換会も企画しております。

大会当日、皆さまとお会いできますことを、実行委員一同、心より楽しみにしております。

【開催概要】

開催日時：8月23日（土）10:00～17:45 18:00より情報交換会（任意参加）

開催方法：対面

開催場所：同志社大学 今出川キャンパス 良心館3・4階

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

（最寄駅：京都市営地下鉄烏丸線今出川駅すぐ）

<https://www.doshisha.ac.jp/information/access/index.html>

◎開催期間中のネットワーク環境は、eduroam が使用可能です。

プログラム：

大会テーマ「多様なStudent Successに寄りそうアカデミック・アドバイジング」

9:30～ 受付開始

10:00～12:00 自由研究・実践報告発表

12:00～13:00 昼食

13:00～15:00 テーマ別ワークショップ

テーマ1：「アドバイザーのためのポートフォリオ作成ワークショップ」

清水 栄子（愛媛大学）・岡田 強志（東京通信大学）・川村 和弘（北九州市立大学）・

杉田 郁代（高知大学）・福 博充（創価大学）

テーマ2：「大学の学びに適応し、Student Successを目指す力を育てる

～SSP支援ツールを使って『可視化・整理・明確化』を体験しよう～」

渡邊 あい子・石田 明菜・岸岡 奈津子・徳井 将平・神田 麻衣子・溝畑 絵里子（以上、立命館大学）

15:00～15:15 休憩

15:15～15:45 総会

15:45～16:00 休憩

16:00～17:45 シンポジウム「“寄りそう”から生まれる成長—卒業生の語りにみるアドバイジングのかたち」

シンポジスト：北星学園大学・大阪経済大学の卒業生・教職員

コメンテーター：島田 敬久（上智大学）・モデレーター：篠田 雅人（同志社大学）

18:00～20:00 情報交換会（任意参加）

会場：カフェレストラン Hamac de Paradis 寒梅館 1 階（同志社大学 室町キャンパス）

【自由研究・実践報告発表】 10:00～12:00**<部会1> 司会 松本 清（東京科学大学）**

- ①アドバイザー研修設計の新たな視点 — What・How・Sequenceから考える
清水 栄子（愛媛大学）、岸岡 奈津子（立命館大学）、池田 輝政（U&Cストラテジー）
- ②生成AIを用いた新任アドバイザー負担軽減に関する一考察
島田 敬久（上智大学）
- ③アカデミック・アドバイザー初任者研修の到達点と課題 —立命館大学における職能開発研修の実践から—
加藤 義徳（立命館大学）
- ④アカデミック・アドバイジングの可能性
～教職協働の懸け橋としての役割と大学の価値創造機能としての役割の考察～
天尾 美花（ZEN大学）

<部会2> 司会 木原 宏子（創価大学）

- ①日本人学生における留学生との交流に関する意思決定バランス尺度の作成
山野 洋一（京都産業大学）、三宅 沙侑美（岡山大学）、田中 共子（岡山大学）
- ②学生のコメント活用度に着目した形成的支援の設計：
アカデミックライティングにおけるフィードバックの受容と活用に着目して
木原 宏子（創価大学）
- ③日本語話者大学院生による学際的視点に基づくアドバイジングの実践：
人文・社会科学系大学院留学生を対象に
趙 智英（同志社大学）
- ④学生はどうやって授業を選んでいるのか？—履修選択と生活デザインの関係から考える—
山田 剛史（関西大学）、溝口 侑（関西大学）

<部会3> 司会 深谷 麻未（名古屋大学）

- ①“Student Success”の定義とその測定方法に関する一考察
高良 要多（桃山学院大学）
- ②準正課教育に携わる学生の成長実感の測定と周囲の関与の関係
—京都外国語大学の学生アドバイザーを事例として—
岸岡 洋介（京都外国語大学）、山野 洋一（京都産業大学）、岸岡 奈津子（立命館大学）、
松本 清（東京科学大学）、深谷 麻未（名古屋大学）、清水 栄子（愛媛大学）
- ③アカデミック・アドバイジングにおいて学習成果をどのように設定できるのか？
—米国の大学を事例にして—
小林 忠資（岡山理科大学）、清水 栄子（愛媛大学）

【テーマ別ワークショップ】 13:00～15:00**テーマ1：アドバイザーのためのポートフォリオ作成ワークショップ**

清水 栄子（愛媛大学）、岡田 強志（東京通信大学）、川村 和弘（北九州市立大学）、
杉田 郁代（高知 大学） 福 博充（創価大学）

アカデミック・アドバイザーのためのポートフォリオは、自身のアドバイジング活動を振り返り、今後の方針や課題を明確にするための重要なツールです。本セッションは、通常2日程度かけて実施されるポートフォリオ作成ワークショップの一部として位置付け、アドバイザーとしての支援方針（理念）を言語化することを目的としています。前半ではポートフォリオの意義や活用方法を紹介し、後半では個人ワークとグループ共有を通じて、自身の支援に対する姿勢を明確にしていきます。ポートフォリオに関心のある方、支援のあり方を見直したい方の参加を歓迎します。

テーマ2：大学の学びに適応し、Student Successを目指す力を育てる

～SSP支援ツールを使って『可視化・整理・明確化』を体験しよう～

渡邊 あい子、石田 明菜、岸岡 奈津子、徳井 将平、神田 麻衣子、溝畑 絵里子（以上、立命館大学）

大学での学びに困難を抱える学生の多くは、アカデミック・スキルの不足ではなく、スケジュールやタスクの管理など実行段階のセルフマネジメントに課題を抱えている。とくに初年次生はその重要性を十分に認識できていないことが多い。Student Success Program（以下SSP）では、こうした課題に対応し、大学生活への適応力を育むとともに、目標設定やモチベーションの維持を含めたスチューデント・スキルの涵養を支援するツールを提供している。

本ワークショップでは、支援ツールの活用について実際のケースを紹介する。そのうえで、参加者自身がツールを使ってみることでStudent Successに向けた「可視化・整理・明確化」のプロセスを実感できる機会としたい。

〔JAAA総会〕 15:15～15:45

会員の皆さまは、必ずご出席ください。

※欠席される場合は、事前に委任状を提出してください。

（委任状は、本ニュースレター5ページ「お知らせ」の入力フォームより提出してください。）

【シンポジウム】 16:00～17:45**テーマ：“寄りそう”から生まれる成長－卒業生の語りにみるアドバイジングのかたち**

本シンポジウムでは、学生の“語り”と、学生と教職員の“対話”を通して、支援の現場で実践されてきたアドバイジングのかたちを見いだします。登壇するのは、在学中にアドバイジングを受け、ピアサポーターとしても他者に寄りそった経験をもつ卒業生と、在学中ともに歩んだ教職員のペア2組。

コメンテーターには、NACADAの優秀アドバイザー賞を日本人として初めて受賞された島田敬久氏を迎えて、“寄りそう”アドバイジングとは何か、その先のStudent Successとは何か、について語り合いながら、アカデミック・アドバイジングの可能性を展望します。

シンポジスト：北星学園大学・大阪経済大学の卒業生・教職員

コメンテーター：島田 敬久（上智大学）

モデレーター：篠田 雅人（同志社大学）

【情報交換会】18:00~20:00

大会終了後、情報交換会（こくち一ず経由の事前申し込み制）を開催いたします。

会場：カフェレストラン Hamac de Paradis 寒梅館（同志社大学 室町キャンパス 寒梅館1階）



日本アカデミック・アドバイジング協会 第5回年次大会実行委員会

実行委員長 篠田 雅人（同志社大学）

小林 忠資(岡山理科大学)、田中 美也子(大阪経済大学)、深谷 麻未(名古屋大学)

松本 清（東京科学大学）、李 瑾(中京学院大学) ※名前は50音順

Email : info@academic-advising.jp、URL : https://academic-advising.jp/

参加申込について**1. 大会参加申込及び参加費納入期限**

2025年8月16日（土）

【参加費用一覧】

	会員	学生会員	非会員
参加費	4,000円	0円	5,000円
情報交換会	5,000円	5,000円	5,000円

◎当日の参加の場合の参加費は、会員5,000円、非会員6,000円となります。（学生会員1,000円）

2. 大会参加申込及び参加費納入方法

事前決済システム（こくち一ず）を利用しています。以下のURLにアクセスいただき、参加申込みおよび参加費振込みを行ってください。

<https://www.kokuchpro.com/event/20250823/>

※協会Webサイト内の年次大会ページからも、アクセスできます。

3. お申込みにあたって

- 本大会は、事前申込み制となっております。申込期限後は、受付できませんのでご注意ください。
- 本大会は、非会員の方もご参加いただけます。
- 団体会員のお申込みは、5名様までとさせていただきます（それ以上は、非会員としてお申込みください）。
- 現在非会員の方で、会員としての参加申込みをご希望の場合は、先に当協会のWebサイトより「**会員申込（7月23日（水）まで）**」をお願いします。
追って会員決定通知をお送りしますので、入会費および年会費納入後、上記フォームにて期限内に参加申込みをお願いします。
- 参加費をお振込み後、ご都合によりキャンセルされる場合は、**8月16日（土）**までに申込みされた「こくち一ず」内でキャンセル手続きを行っていただきますと返金されます。
なお、**8月17日**以降のキャンセルについては、返金できませんのでご了承ください。
- 領収書につきましては、誠に恐れ入りますが、振込時に発行される「振込明細書」もしくは「振込完了画面（スクリーンショット等）」を領収書の代わりとしてご利用いただきますようお願いいたします。協会発行の領収書が必要な場合のみ、事務局までお知らせください。
- **8月18日（月）**までに、大会要旨集をお送りします。
- 年次大会終了後の情報交換会の参加は任意です。お時間のある方は、ぜひご参加ください。

4. 大会当日の留意点

- 夏期休暇期間中の土曜日のため、地下鉄今出川駅北改札（国際会館寄り）左横から大学内に直接通じる地下通路および1番出入口（北改札出てすぐ右側の階段）を上がってすぐ隣にある中門は閉鎖されています。そのため、1番出入口あるいは3番出入口（南改札（京都寄り）出てすぐ左側の階段）を上がっていただき、西門からご入構ください。
（9:15～10:30の間、1・3番出入口地上部に誘導員を配置します。）
- 学内の食堂・コンビニエンスストアも全て休業中です。大会当日の昼食は、近隣の飲食店・コンビニエンスストア等をご利用いただくか、各自でご持参ください。
- ネット環境として、eduroam が使用できます。
- 会場となる教室には、電源設備はほぼありません。各自事前に十分充電していただくか、モバイルバッテリー等のご準備をお願いします。

5. 宿泊予約について

- * 宿泊予約については、会員の方のみご利用いただけます、
会員の方は、会員向けにメール送信した『ニュースレターNo.9』をご覧ください。



<< お知らせ >>



1) 2025年度の会費納入について

会員の方への本年度の会費納入依頼は、7月中旬頃にご案内いたします。
お手数ですが、年次大会までのお振込みにご協力くださいますよう、お願いいたします。

2) 総会を欠席される個人会員の皆さまへ

総会は、個人会員の2分の1以上の出席により成立します（会則第13条）。総会を欠席される個人会員の方は、以下の委任状フォームより、議決権の委任をお届けください。

<https://forms.gle/DsMvdtYXAwSJ6WaE6>

3) 所属先・住所等の変更連絡のお願い

お届けの所属先や住所などにご変更がある場合は、**8月9日（土）**までに、事務局までお知らせください。



<< 会員の活動紹介 >>

このコーナーでは、アカデミック・アドバイジングに関する会員の活動をご紹介します。

2025年5月26日に開催された中央教育審議会において、本協会会長の清水 栄子会長（愛媛大学）がアカデミック・アドバイジングについて報告されましたので、その内容をご紹介します。

5月26日に開催された中央教育審議会大学分科会質向上・質保証システム部会（第2回）において、アカデミック・アドバイジングに関するヒアリングが実施されました。本協会の清水 栄子会長（愛媛大学）が登壇し、アカデミック・アドバイジングの意義と導入・制度化に向けた課題について報告を行いました。

また、新潟大学の実践も紹介され、学習支援体制の構築に向けた多様な取り組みとその将来像について共有されました。報告後は、高等教育におけるアカデミック・アドバイジングの重要性や、その導入に向けた課題・可能性について活発な議論が交わされました。

質向上・質保証システム部会は、2025年4月23日に設置され、以下の所掌事務を担っています：

（所掌事務） 設置基準や設置認可審査、教学マネジメント、認証評価制度及び情報公表の在り方等を一体とした質向上・質保証システムについて専門的な調査審議を行う。

部会で検討する主な論点の一つとして、「④ 学生が主体的・自律的に学修するための環境構築の促進」として、「教学マネジメントを確立し、アカデミック・アドバイジング等の学修支援体制を整備するため、教学マネジメント指針の見直し等を行う」ことが明記されており、第2回部会では、「学修者本位の教育を実現するアカデミック・アドバイジングについて」を議題として、ヒアリングが行われました。

清水会長が語る「アカデミック・アドバイジングの導入と制度化に向けた検討」

清水会長は「アカデミック・アドバイジングの導入と制度化に向けた検討—米国との比較を手がかりに—」と題し、報告を行いました。冒頭では、アカデミック・アドバイジングの基本的な概念を説明するとともに、米国における実践事例を紹介しました。日本においても導入が求められる背景として、学生やカリキュラムの多様化、各種支援の分断、大学の研究力や国際競争力の低下などを指摘しました。

さらに導入にあたっては、大学におけるアカデミック・アドバイジングの組織的な位置づけの明確化やアドバイザーの育成・確保に加え、政策的に不明確な制度的位置づけの是正、および継続的支援を可能とする財政的基盤の整備の必要性などが導入に向けた重要なポイントとして挙げられました。

今回の部会での報告は、日本におけるアカデミック・アドバイジングの普及と質の向上に向けた議論の重要な一歩となりました。令和7年度私立大学等改革総合支援事業タイプ1「『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の展開」の調査票には、アカデミック・アドバイジング体制整備状況を問う設問が新設されています。今後、日本の大学等における導入がますます進むことが予想されますが、本協会は、引き続き関係機関との連携も含め、学生一人ひとりが充実した大学生活を送れるよう、アカデミック・アドバイジングのさらなる発展に貢献してまいります。

芳中 宗一郎（大阪産業大学）

<編集後記>

皆さま、暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？

JAAAニュースレターNo.9をお届けします。第9号では、第5回年次大会開催のご案内をしています。このニュースレターの編集とともに年次大会の実行委員としても関わり、アカデミック・アドバイジングについて会員一同が語り合う素晴らしいイベントになる一助になればと準備をすすめています。

昨年は、悪天候のため、対面開催がオンラインに変更となりました。今年、協会創設以来、初めての対面開催となります。皆さま、京の地へお集まりください。（編集担当：田中）

日本アカデミック・アドバイジング協会

（Japan Association for Academic Advising：通称 JAAA）

事務局：〒615-8558 京都府京都市右京区西院笠目町6

京都外国語大学 岸岡研究室

Email : info@academic-advising.jp、URL : <https://academic-advising.jp/>

